東京都千代田区神田猿楽町1-7 三笠産業株式會社

昨年の秋本邦初の高周波型枠振動機が完成さ

が初まり幾多の試作品が製作され、各種デー きさ及び形状、重量等の力学的計算及び設計 ローターシャフトに取り付ける偏心振子の大

> 大きな締め固め能力が得ら ばそれたけ小さな振幅でも 増減するから回転を上げれ

出力、100V 150サイクル9000r.p.m

-の開発が、ぬられるかたわら、モーターの

組んで来られた専門学者や技術者の共通した

続け既に内部振動機及び外部振動機に於ては 既に十数年以前よりこの問題の解決に努力を 御意見であって、忽論弊社の技術陣に於ても

てその数量は恐らく数十万台を突破していま

源を得て先ず周波数変換機

髙周波振動機時代 未るか!

笠高周波型枠振動機に就いて

は一五〇W(光馬力)より一・五KW(二馬 が益々拡大されるとの見透しを持って、内部 極めて高品位のコンクリートを要求する分野 得なかったのであります。 使用する関係から七五〇W(一馬力)以上の 心力を得る為にはインダクションモーターを 力)迄、実に六種類の製品が発売され各方面 努力を続けて来たのであり 合に、最高質度、最高品位の製品を早くしか 振動機との併用或は、鉄筋やピアノ線や複雑 Sコンクリートや、プレハブ建築等の如く、 ものとなると、どうしても大型とならざるを 動機でなければならないと 最適振動とを得ることの出来る高周波型枠振 な構造のために内部振動機の使用できない場 其処で弊社の技術陣は数年前より今後はP 強固緻密に製造するためには、どうして

題として、インダクション で一分間に三〇〇〇回転、 いるのだから、この基本の 回転と定まった数字が出て 六〇サイクルで、三六〇〇 名古屋以西はこの二割増の モーターの一般電源の周波 それには先ず基礎的な問

算です。そこで弊社工場内 ることは簡単に成り立つ計 〇〇回転の三倍即ち九、〇 ○サイクルにすれば三、○ 五〇サイクルを三倍の一五 の電気研究所の試験設備を ○○サイクルにすれば、

動を与えることが最も効果的であることは、

建設省初め各研究所並びに実際にコンクリー トの打設工事に従事して常にこの問題と取り

○V·P·Mから一二○○○V·P·Mの振

既に、コンクリートの締め固めには九〇〇

れに伴う周波数電圧変換機に就いて詳説し大

方の御参考に供したいと思います。

が工場より出荷されてその優秀性は日々実証 約三○%も低価格で納入することが出来、 性は実証され、自由化に対して完全に国産バ 定格三〇分に対し、三笠は連続定格でしかる 品と競合いして弊社から納入され、 として、大量受註が決定し、百数十台が輸入 をもゆるされないPS軌道(一般的に謂えば を結ぶ日本高架電鉄(株)の日立アルヴエー 1 に三笠の技術、製造の各セクションの優秀 コンクリート製レール)製造用の型枠振動機 グ式モノレール用として絶対に一ミリの誤差 目指して突貫工事中の羽田国際空港から都心 て世間の注目をあびて、現在オリンピックを その時既に日本での本格的モノレールとし

輸入品の

社等から注目され受註は月毎に増加の一途を 以後、続々と各種のPS会社やプレハブ会 第で大いに我が社は面目をほどこしたわけで

イブレーターの優秀性を示すことが出来た次



約し、養生期間を短縮し、収縮を低め、しか もコンクリートの早期強度を増大させる) 練りコンクリートでも充分に素早く締め固め セメント、水)に加振作動するからどんな固 で、極めて締め固め能力が大きく、コンクリ 動は強大な遠心力と最適振幅を持って居るの トを構成するあらゆる成分に(砂、 (1)高周波型枠振動機によって与えられる振 (註 固練りコンクリートはセメントを節

線、ヒース、或は鉄筋との結着能力を高めま 強度の増大は忽論、コンクリート内のピアノ ②前記のことから、曲げ引張り、圧縮等各

めず、回転率を上げることが出来る。 時間が短かくてすむから、高価な型枠をいた が伝わるので最小限の個数で間に合い、振動 (3)小振幅にかゝわらず、深く、広く、 遠心力は偏心錘の重量である。

機のローターシャフトの両軸に固定した偏心 振子と冷却用ファンを備えた可変偏心錘が取 機は完全に密閉された高周波専用の誘導電動

いて設計、

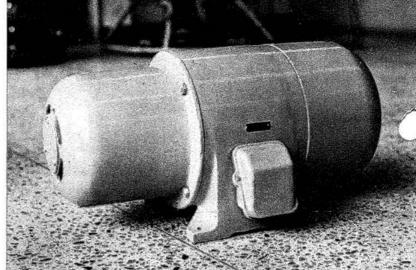
製作された、これ又三笠が世界に

する安全装置等に重点を置

且つコンパクトな形状、

誇る画企的な製品と謂い得るものです。 て来るような構造になっています。 時にジエネレーター部の回転子部分に励磁電 とが直結され、入力端子に三相二〇〇Vの電 図に示す如く原動モーター及びデエネレータ 倍の一五○サイクルとなって出力端子より出 のコイルに発生する周波数は五〇サイクル三 ルは六極にしてあるので、固定子(電機子) る、これを界磁コイルと言う。この界磁コイ 流を送りこれを電磁石としてS極、N極を作 源を通じて、原動モーターを回転させると同 フトとジエネレーター部分の回転子シヤフト シ等よりなり原動モーターのローター とその耐磁電源用のスリップリング、ブラ 構造は一体に組み込まれたケースの内部に

頂いて、次回に又説明させて貰います。 件が二割オーバーするので若干異なってまい 数及び高周波振動機のV・P・Mその他の条 ルの場合には当然周波数変換機より出る周波 電源周波数が名古屋以西の様に六〇サイク (一九六三年度三笠綜合型録 五頁・八頁



ンシー)及電圧(ボルテー のコンパーターはその名称 数電圧変換機に就いて簡単 造装置に最適である。 生が出来るので、オートメ 付けたま」で、高温蒸気養 閉であるから、 が示す如く周波数(フレケ に説明しましよう。即ちこ 要な駆動源となる三笠周波 ーション式コンクリー 次に本機の使用に絶対必 (4)モーター部分は完全密

び出来得る限り軽量にして ジ)を高周波振動機の駆動

と馬淵建設株式会社 西村建築設計事務

所

の両社に対し、卓越した技術により見事至難 謝状が授与させ引続き各社の担当者にもそれ て係長以上の社員出席のうえ京谷社長より感 トして両社の代表者を招き、当社会議室に於 八月十日の我が社の創立二十六周年記念日を な本社建築を完工された労苦に感謝したいと った西村設計と其の施工を請負れた馬渕建設 本社々屋の建築に当り其の設計監理者であ



三笠京谷社長より西村社長へ感謝状援与

電源と変換機と振動機との結線図 0 0 三相電源 周波数変換機 高周波型枠振動機

入力、200V 50サイクル

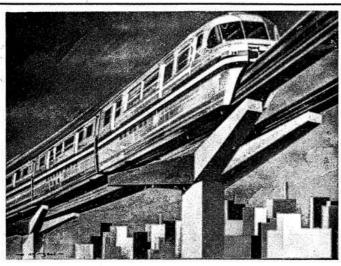
東部地区巡回コース図

(第5コース) 十和田

(第6コー

石卷

(第7コース)



モノレール高架電車の想像図

鉄のモノレールの起工式が去る五月一日午前 立地で行なわれた。 十時半から品川区天王州町さきの品川阜頭埋 都心と羽田空港を十三分で結ぶ日本高架電

跨座 (こざ) 式と呼ばれるもので、地上五十 ツクまでに完成させるとのことである。 総工費百五十二億円をかけ来年のオリンピ このモノレールは一本のレールを芯にした メートルの高さに建てられ支柱

され、これに跨って車輛が走る の上に高さ一・四メートル、幅 〇・八メートルのレールがわた ようになっている。

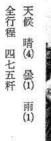
で、この固定編成だと国電より さ三十メートル、幅三・二メー が、車輛(三両固定編成)は長 トル、高さ四・二二メートル している日立製作所が作るのだ まわり大きくなるとのことで 西独アルベーグ社と技術提携

まで五分間隔で一編成と二編成 六〇キロ、レールは複線で、完 万人の輸送が可能だとのことで 成当初は午前六時から夜十二時 定員は二百四十人、平均時速

自六月十七日

コ

至六月二十二日



コ

巡回地 甲府 富士吉田 沼津

吉原

静岡 清水 浜松

大沢 木村 松島

自 六月二十三日 至六月三十日

巡回地 飯田 伊那 搭乗者 平戸課長 六八七粁 辰野人岡谷 大 諏訪

池田

自七月八日 至七月十三日

巡回地 弘前 五所川原 青森

十和田

全行程

甲府中道代理店前にて

第 几 . .



飯田双葉代理店前にて

米沢市上杉神社前にて

第

搭乗者 杉山 藤本 夏目 天候 曇時々雨(3) 雨(2) 自七月十四日 至七月二十日 五 J ス

三笠高周波型枠振動機を型枠へ取付けた

モノレール工事現場

ビスカーと共にが部版 -ビスカーと共に

秋田

(第4コ



んで、六月十七日社員多数に送られて本社前

これ等の機械をサービスカー第一号に積み込

インバクトローラーと大型タンピングランマ

の実演並に其の操作説明が主であるので、

今回のキャラバンは本年度の新製品である

を元気よく出発した。

吉田市役所前広場にて

巡回地 直江津 柏崎 長岡 三条

福島

全行程

第 コ

天候 晴(4) 曇時々雨(2) 川口係長 青木 六八七粁



搭乗者 星野課長 曾根 荻本 全行程 八三九粁 巡回地 福島 山形 鶴岡 酒田 湯沢 秋田 能代 大館 弘前

会津若松 ス 大町q (第2コ ース) 天候 晴(5) 曇後晴(1) 富士吉田 (第1コース)/ 清水 富士 吉原 静岡 浜松

平 日立 水戸

宇都宮 桐生

高崎

社から技術者を同乗させて七月十

იე

五日午後三時富山を出発、最初の

機械の社員とメーカーである我が

目的地高岡市に向い、

大阪へ帰

再び編成替えして中国、九州

磯部

杉山 吉多三 青木

うと云うことで、

大阪の三笠建設

巡回地 搭乗車

小林工場長

田中(三笠

十七日

自八月二十三日

至八月一

自七月二十九日 至八月三日

雨後晴(1)

第

コ

な格好になってしまったが、元よ め、それとなく此の線を結んだ様 会が開かれる機会を利用したた

西部地区巡回コース図

北陸の富山と九州の佐賀に展示

品の実演並に説明のため各地の代 り東部と歩調を合せて本年度新製

理店を主にキヤラバンを実施しよ

載出来ませんでした。巡回の際各地の代理店 れていましたが、紙面の都合で違憾ながら掲 各地の写真は多数撮影されて編輯部へ提出さ で一路東京へと一同元気に帰路に就いた。 以上を以て巡回サービスを無事終了したの 3 号

青森市沢口組現場にて

御支援を賜りましたことを深謝してこの報告 の方々には特に吾々搭乗員のために格別なる

第

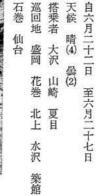
1

コ

を終ることにします。



コ







石越町千葉土建現場にて



前橋市小野田工業にて



石巻市山本組現場にて

巡回地 自七月十五日

高岡 鯉沼係長

金沢

至七月十七日

搭乗者

岡田係長

J

搭乘者 巡回地 自七月三十一 姫路 窪田 松下係長 広島から乗車 日 明田(三笠建機) 岡山 福山 広島



第

自八月十一日

至八月十六日

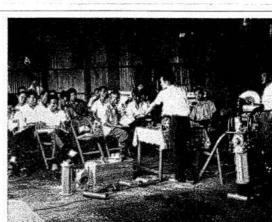
第

ス





巡回地 搭乗者 岡田係長 立花 (三笠建機) 大分 宮崎 日南 都城 鹿児島



旭川畑機械前に

XXXXXX

ス



宮崎市役所前に於け三笠サービスカーと乗務員。



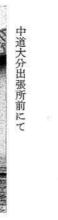
巡回地 三日

熊本

岡田係長

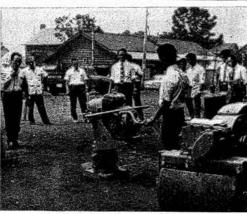
自八月十六日

至八月二十





作所にて



八月八日の日曜日から中道機械さんの札幌

第三日 八月六日 (火) 心で特にインパクトローラーに対しては某社 演並に技術指導に廻った。各社共非常に御熱 長谷川工場長と一諸に本年度新製品のインバ 及び旭川支店、帯広営業所を五日間にわたり 第五日 八月八日 (木) 第四日 八月七日(水) 第二日 八月五日 (月) 第一日 八月八日(日) れたことは意義深く頗る印象的であつた。 と対照されて興味を持たれ好感を以て迎えら クトローラーと大型タンピングランマーの実 本社を振り出しに仝社及楢崎産業さんの札幌 訪門先 中道機械帯広営業所 訪門先 楢崎産業帯広営業所 訪門先 楢崎産業旭川営業所 訪門先 中道機械旭川支店 訪門先 楢崎産業 (札幌) 訪門先 中道機械 (札幌) (星野報)

った。これぞ立売堀振興会の会長であり大阪 コンクリート四階建の大ビルデングが出来上

あまのばら…

ふりさけ見れば

大阪市西区立売堀の中心部にこのほど鉄筋

本社々屋落成す

から新社屋に於て盛大に催された。

当社からは生憎京谷社長以下の幹部が大阪

和 社 工業株式会社 々屋落成 (松本市高宮町二八一)

す

社名はお人柄にふさわしい現代感覚に満ち溢

れた「オノマシン」と改称され、去る六月二

経営する小野製作所の新ピルである。しかも

機械工具連合会の会長でもある小野逞三氏の

其の披露パーテイーを五月二十四日午后一時 る、永和工業さんでは昨年秋頃から本社を新 築中のところ、五月二十日完成されたので、 永年にわたり松本市に強固な地盤をかち得 建設業界から絶大な信用を博して居られ

出席し、千名にも及ぶ来賓は各階の会場を埋

士多数を招待して盛大なる落成披露パーテイ

ーが催され、我社からは京谷社長京谷専務も

十一日に佐藤知事や中馬市長を始めとする名

め尽して近来にない盛況であった。



オノマシン新社屋と小野社長

П

オール 本社チーム優勝す 三笠野球大会

中球場に於て花々しく催れた。参加チームは された本社チームの他小林工場長を監督とす 押立てた応援団が黄色い声を張り上げ炎天下 特に高校出や大学出の新人の入社により強化 京谷専務を監督に吉田常務をコーチに本年は 二回オール三笠野球大会が館林の三の丸と二 長杯と群銀支店長盾が贈られて球場は正に興 ームが参加して、それぞれに娘子軍を先頭に す春日部工場チームに社外の協力工場から桜 る館林工場チーム、長谷川工場長を監督に押 奮のるつぼと化した。 もものかはとわめきたてれば、折から館林市 八月十日の我が社の創立記念日を祝して第 中央螺旋、田摩フレツクスの各強豪チ

ない建物であり、

其の外サービス工場倉庫ガ

理想的な本社屋である。

才

ノマシン(小野製作所)

レージなど一階八十坪の別棟まで揃って居る

する各種の設備が完備されて近代的な申分の

十坪の華麗で豪華で、しかも冷暖房を始めと

十坪の中に鉄筋コクリート二階建延坪二百六

新社屋は国道十九号線添いで、敷地三百六

不在中だったので営業第一課大沢販売主任が の展示会と西部地区代理店会開催のため出張

会社を代表して出席した。

方を追う各チームの応援団は一喜一憂と云っ が飛び其の度毎に観衆がどよめいて優勝の行 刻々と報ずる第一試合第二試合の経過準々 準決勝と両球場からしきりにニュース

あれぞまさしく 三笠の上に出でし

手が帰路に就いたのは七時近くであった。 手賞、敢闘賞など盛沢山な商品を抱いて全選 位にも賞品が渡され、ホームラン賞、優秀投 ころとなり、京谷社長より優勝チームの京谷 チームを退けて見事本社チームが優勝すると や暮れがての頃七対一を以て堂々と中央螺旋 本社チームとの優勝争いとなり、夏の日も早 監督に優勝旗が授与され、引続き館林市長 やがて最後に勝残った中央螺旋チームと三笠 たところで興味正に深々たるものがあった。 群銀支店長盾も授与され、第二位、

本社チームのメンバー左記の通り 4 佐潟 7 浅野 8 堀光



優勝した三笠本社チーム

至五月二十二日 自五月十八日

長 尚 展

主催 場所 所潟県及長岡市 市大手通長岡厚生館東側 至六月十一日

川口市領家町中道東京サービスセ 中道機械産業株式会社

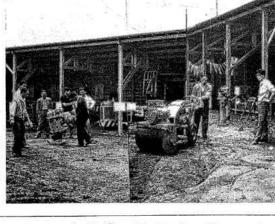
長や国土開発興業、鹿島建設等から課長級の 外仝社では毎日午后一時から建設省の振興課 なぞして仲々好評であった。 技術者を講師として招き、連日講演会を開く 出品され注目を引き連日人気を呼んだ。此の ピングランマーと小型インパクトローラーが われた。当社からは真先に新製品の大型タン たり川口建設展と銘打っていとも盛大に取行 及び埼玉県下の需要家を招待して五日間にわ 中道機械の都内各営業所を主体とし、都内



出品数も多くなり、 今回は北陸建設展も二回目を迎えたので、 場所 富山市体育館周辺 地方 られない大規

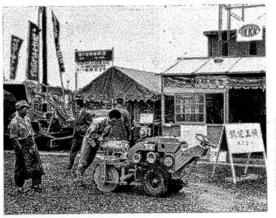
に努めたので、多大の感鳴を与え頗る好評を ランマーの実演に主力を置いて積極的なPR ンパクトローラーとMTR―10型タンピング を極めた。我が社は新製品のMRV-10型イ に各方面から多数の観客を引きつけ連日盛況 当地に於ける第一回の近代建設機械展だけ

云う力の入れ方で、会期中予めお契約の纏り 十六台、インパクトローラー二台、各種バイ かけたものタンピングランマー大小合わせて ても自から招待状を五五○社宛に発送すると 当地の我社の代理店である鉄建工機殿に於 (平戸報)



物店の二社

川口展示会場)



(長岡展示会場)

富山県及富山県建設業協会共催 自七月十一日 至七月十四日

いではなかったが、最終日は県庁で人札があ と一緒なので稍々PR不足と言った感じもな ったりして業者も多数集っていた為でもあっ

Щ 展 Rを行い、 示 会 社は主とし

大の共感を 観覧者に多

堂々たるサービス工場を持っていて業者から く感じた。 の信用も厚く日頃の活躍振りを想像して心強 (鯉沼報) では、各々

尚 自七月十三日 至七月十五日

当地の片岡屋代理店の出品で賑々しく開催さ れた。尤も隣地の車輛展(自動車展示会) 本年は九回目の建設展で毎年のことながら 場所 静岡市駿府公園



岡 展示会場

句 募 集

用 当季雜詠 締 佳作には薄謝を呈す 切 次号(十一月)に発表 十一月十日 ハガキ又は便籤縦書 人 五句以内

で俳句の掲載は次号にまとめて出します。 今回は各地から沢山の原稿が集りましたの れ来場者に多大の感鳴を与えた。(平戸報) 実演と説明に終始した。会期中は天候に恵ま た。我が社は専ら新製品のインパクトローラ たか、終日多数の観覧者が来場し盛況を極め -と大型タンピングランマーに主力を注ぎ、

なく遂に順延となったが、引続き雨が降り続

模なものとなった。初日は雨のため観覧者少

空を仰いで溜息をついていたが、天候の快復

と同時に待

いて二日目、三日目共に天候に恵まれず一同

大鉄鋼機(株)大鉄鋼機商会

至八月二十四日

自八月二十一日

る盛況を極

殺到して頗

に観覧者が ち兼ねた様

めた。我が

佐賀市大財町一本松

実演と、P て新製品の

からお祝い申し上げて深く其の労を感謝しま 強大さに終始来場者の目を奪い、会期中に四 タンピングランマー(大型)及びインパクト れた。勝れた企画と充分な事前のPRが効果 の協賛の下に佐賀市初の建設機械展を開催さ 後の活躍に大いに期待すると同時に盛会を心 台も成約することが出来た。大鉄鋼機殿の今 ローラーの各新製品はその機動性と輾圧力の を奏し極めて盛況であった。当社から出品の の開拓に努めて居られる両社が、創立十周年 と修理工場落成を記念して、四十数メーカー て、意慾的な販売方針をもって、常に新需要 当社の代理店として佐賀及び大阪地区に於 (小林報)

丸三商店 地の代理店 与えた。当



佐賀展示会場